

ロッキー

静音と高回転の伸びを両立
エジソン中里氏が送る
渾身の本

写真：鶴身 健



5万600円

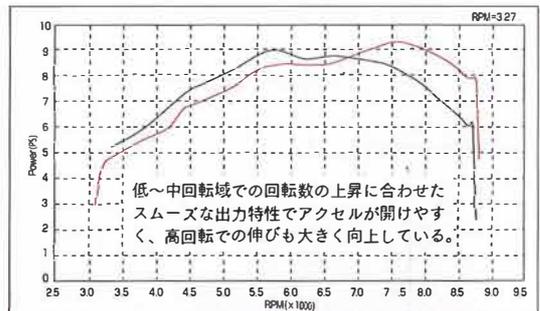
●JMCA政府認証 ●GPエキセントリックベース（V.E.S構造）●材質：スチール/ステンレス ●加速走行騒音：90dB（エキセントリックベース装着時：71dB）

CT125用として開発された「ロッキー」は、開発した中里氏によれば近年稀にみる力作だという。NRマジック独自開発のV・E・S（バリアブル・エキゾースト・システム）構造を採用。音量を抑えつつ、吸気と排気のオーバーラップを最大限に利用することで、高回転の出力を飛躍的に向上させている。また、サイレンサー内部には、

エキセントリックベースを採用。伸びのある心地よいトルクと静かな重低音を奏でてくれる。エキセントリックベースはサイレンサー内にリベットで固定されているためメンテナンスも簡単。「世のなかにはないものを創り出すためにマフラー作りを始めました。こんな時代ですが、ライダーがときめくような物を作っていきたい」と代表の中里氏は語る。

①外見は唯一無二といえるほど特徴的で、カスタム感満載。YZR-M1レプリカと表現すべきだろうか、NRマジック製マフラーのなかでも、抜群にデザイン性が高い。ひと目見て「ただものではない」雰囲気が見て取れる。②サイレンサーのヒートガードは特大で、NRマジックのロゴ入り。サイレン

サーとのクリアランスをとって、荷物やタンデムライダーの足を熱から守る。③取り付けステーは、純正よりも外側に張り出した形。独特のスタイリングも、この外側へのオフセットが効いているのではないだろうか。④サイレンサーエンドはハニカムデザインで無数の穴が空いている。独特の消音構造で、静音性とパワー特性を両立させた。⑤エキパイの、足が当たる部分にもしっかりとヒートガードが装着されている。



走行性能もサウンドも「ちょうどイイ！」を実感



HIDE 川島

関西在住のフリーランス。二輪/四輪雑誌の副編集長経験があり、自身も乗ってイジるのが大好き。アラフィフ目線で本質を見る。

ハンターカブに装着されたロッキーは、ノーマルマフラーに比べてかなりコンパクト。YZR-M1のマフラーをオマージュしたデザインだけに、スポーティかつワイルドに決まっている。これだけスリムだと消音能力が心配になるが、そこはNRマジック独自の「エキセントリックベース」によってしっかり抑えられており、さすが政府認証マフラーという品質だ。サウンドは隔壁タイプの消音ながら詰まった印象はなく、回すほどに軽快なシングルサウンドを奏でてくれる。実走行ではノーマルよりも高回転の伸びがあるので、素直にエンジンを回す楽しさが味わえた。自然なパワー特性で乗り手の思いどおりに走れる印象は、まさに優等生といえるマフラーだ。

